

市の健幸ポイントプロジェクト

追加募集 3倍の応募

健康づくりに取り組り、運動教室に参加しんだ岡山市民に商品券や電子マネーなどと交換できるポイントを贈る市の「健幸ポイントプロジェクト」で、市が参加者734人を追加募集したところ21

年3月まで続ける。最初の募集は定員（2千人）割れだったが、追加募集には約3倍の応募があり、市民の健康への関心の高さをうかがわせる結果となつた。

同プロジェクトは40歳以上の市民が対象。歩数計を着けて歩いた

合で周知を図りながら、運動教室に参加したりしてポイントをたたりしてポイントをためる。健康寿命の延伸を図る「スマートウエルネスシティ」総合特区に指定された全国10市の中6市が連携し、最初の募集に応じた参加者は既に取り組みを開始。追加応募者も抽選で734人が選ばれ、プロジェクトに参加する。（石井聰）

年12月8～26日）では応募が1266人にとどまった。市は各種会合で周知を図りながら、運動教室に参加したりしてポイントをたまることで、健康寿命の延伸を図る「スマートウエルネスシティ」総合特区に指定された全国10市の中6市が連携し、最初の募集に応じた参加者は既に取り組みを開始。追加応募者も抽選で734人が選ばれ、プロジェクトに参加する。（石井聰）